記者発表資料

平成２６年　８月　８日
東 北 地 方 整 備 局

入札監視委員会第二部会第１回定例会議（７月２２日）の審議概要について

～抽出案件６件を審議、意見の具申・勧告はなし～

平成２６年度東北地方整備局入札監視委員会第二部会第１回定例会議が、７月２２日（火）、東北地方整備局で開催されましたので、その審議概要（別紙）についてお知らせします。

議事では、委員により抽出された案件６件の審議が行われ、委員からの意見の具申・勧告事項はありませんでした。

〈発表記者会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会〉

問 い 合 わ せ 先

国土交通省　東北地方整備局
仙台市青葉区花京院一丁目１番２０号　TEL (022)716-0013（ダイヤルイン）

契 約 管 理 官　加賀谷（かがや）　浩（ひろし）（内線６２２１）

経理調達課課長補佐　佐藤（さとう）　浩正（ひろまさ）（内線６５５４）

東北地方整備局　入札監視委員会（第二部会）第１回定例会議審議概要

開催日及び場所	平成２６年７月２２日（火）　東北地方整備局会議室		
委員	部会長　齊藤　幸治　（弁護士） 部会長代理　高橋　敏彦　（東北工業大学工学部教授） 委　員　是川　晴彦　（山形大学人文学部教授）		
審議対象期間	平成２６年　１月　１日～平成２６年　３月３１日		
総審議案件	６件	〈備考〉 （１）工事、建設コンサルタント業務等、役務の提供等及び物品の製造等の発注状況 （２）指名停止措置の運用状況 （３）談合情報等の対応状況及び談合疑義事実の該当事案 （４）再度入札における一位不動状況 （５）低入札価格調査制度調査対象工事の発生状況について報告を行った。	
工事 一般競争（WTO対象）	１件		
工事 一般競争（WTO対象外）	３件		
工事 工事希望型競争	０件		
工事 工事希望型以外の指名競争入札	０件		
工事 随意契約	０件		
建設コンサルタント業務等	１件		
役務の提供等及び物品の製造等	１件		
委員からの意見・質問、それに対する回答等	意見・質問	回　答	
	別紙のとおり	別紙のとおり	
委員会による意見の具申又は勧告の内容	本日の審議結果について、意見の具申又は勧告事項はありません。		

東北地方整備局　入札監視委員会（第二部会）第１回定例会議審議概要

審　議　案　件　　工　事　概　要　書

	入札・契約方式	工　事　名	工事種別	契約金額 （単位：千円）	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数
1	一般競争 （ＷＴＯ対象）	相馬港本港地区防波堤（沖）（災害復旧）築造工事（その２）	港湾土木工事	2,682,720	4者	4者
2	一般競争 （ＷＴＯ対象外）	久慈港湾口地区防波堤本体工事(その３)	港湾土木工事	476,280	1者	1者
3	一般競争 （ＷＴＯ対象外）	仙台塩釜港石巻港区雲雀野地区防波堤(南)基礎（改良）工事	港湾土木工事	442,800	4者	4者
4	一般競争 （ＷＴＯ対象外）	秋田港外港地区防波堤(第二南)築造工事	港湾土木工事	410,400	8者	8者

審議案件　建設コンサルタント業務等概要書

	入札・契約方式	業　務　名	業務区分	契約金額 （単位：千円）	手続きへの参加資格及び業務実施上の条件を満たす参加表明書の提出者数	入札参加者数
5	簡易公募型競争	仙台塩釜港仙台港区中野地区岸壁（-14m）付帯施設細部設計	建設コンサルタント等	39,900	1者	1者

審議案件　役務の提供等及び物品の製造等概要書

	入札・契約方式	業　務　名	業務分類	契約金額 （単位：千円）	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数
6	一般競争	仙台塩釜港石巻港区ちとせ修理工事	役務の提供等 物品の製造等	5,838	1者	1者

別　紙

NO. 1

	意見・質問	回　　答
1-1	定例報告 「対象期間における発注案件について」 ・ 特になし。	
1-2	定例報告 「指名停止措置の運用状況」 ・金額の誤記入による指名停止の例はたまにあるのか。 ・具体的にどのような誤り方をしたのか。 ・わかりやすい注意書き等は行っているのか。 ・指名停止期間が他の案件と比べて長いようだが。	・昨年度は２件です。 ・前年度と今年度の仕様内容が変わったが、その部分を確認せずに前年度と同様に入札したものです。 ・一般的には仕様内容が昨年と変わったからといって、特記するということはありません。 ・今回のような案件については3ヶ月ということで決まっています。
1-3	定例報告 「談合情報等の対応状況及び談合疑義事実の該当事案」 ・特になし。	
1-4	定例報告 「工事種別ごとの再度入札における一位不動状況」 ・特になし。	
1-5	定例報告 「工事種別ごとの低入札価格調査制度調査対象工事の発生状況」 ・特になし。	
2-1	審議 「相馬港本港地区防波堤(沖)(災害復旧)築造工事(その２)」 ・入札価格が調査基準価格に近い値になっている理由は。 ・工事の内容が比較的わかりやすい内容なのか。	・見積参考資料として金抜き設計書を開示し、過去の同種工事の積算内訳も公表されていますので、比較的精度の高い積算が可能になっていると思われます。そのため近い値になったと考えます。 ・本工事と類似した内容の工事が以前発注されているため、内容の理解は容易だと考えています。

	意見・質問	回　　答
	・調査基準価格と近い入札額が多いが、調査基準価格は予定価格の何%なのか。	・調査基準価格は予定価格の工種毎に定率を掛けて決まります。工事によって違うが通常の港湾工事では88～90%程度となっています。
	・入札額が各者近いが、積算しやすかったのかと思われるが。	・同様の工事が何回か発注されており、過去の資料を参考に精度の高い積算が出来たのではないかと思われます。
	・落札率が低い理由としては何が考えられるか。	・発注額が大きいため、受注意欲が高かったと思われます。
	・作業で一番時間がかかるのは。	・ケーソン撤去・基礎石均しが一番作業時間がかかります。
2-2	審議 「久慈港湾口地区防波堤本体工事(その３)」	
	・応札者が１者の理由は。	・入札説明書をダウンロードした１３者にヒアリングをしたところ、技術者の確保が難しい、他の採算性の高い工事を優先したとの回答がありました。
	・工事実施にはフローティングドックが必要とのことだが、ダウンロードした１３者全てがこれを所有しているのか。	・それは確認していません。
	・フローティングドックがないと工事はできないのか。	・フローティングドックを所有していなくても、借用することにより参加できます。
2-3	審議 「仙台塩釜港石巻港区雲雀野地区防波堤(南)基礎(改良)工事」	
	・技術的に難しい工事なのか。落札率は100%となっているが。	・三者から提出された工事費内訳書を見ると、直接工事費は同程度で、間接工事費に差があり、結果として１００％で入札した者が落札したものです。 ・震災によるブロックの散乱等が想定されるため、一般的には難しい工事と考えます。
	・地盤改良工法は陸上と同様の工種があるのか。	・陸上における地盤改良と同様、海上でも様々な工法があります。この中には地盤中に砂を圧入したり、セメントミルクを注入する工法等がありますが、今回採用したのは後者のセメントミルクを注入する工法です。
	・低入札の業者がいるがどのような理由が考えられるか。	・一般管理費を非常に抑えた結果と考えられます。
2-4	審議 「秋田港外港地区防波堤(第二南)築造工事」	
	・８者参加してきている理由は。	・本工事は平成25年度補正予算の成立を受け、一番早く公告した案件です。契約時期も３月中と早期であるため手持ち工事や、技術者の空き状況などから参加者が多くなったものと考えます。
	・８者のうち６者が低入札となっているが。	・見積参考資料として金抜き設計書を開示し、過去の同種工事の積算内訳も公表されていますので、比較的精度の高い積算が可能であり、受注意欲も高かったため、この様な結果となったものと思われます。

	意見・質問	回　　答
2-5	審議 「仙台塩釜港仙台港区中野地区岸壁(-14m)付帯施設細部設計」	
	・細部設計の参加表明提出者が１者というのは、基本設計を契約した者でなければ実施が難しいからなのか。	・基本設計の報告書を開示しますので、一定の技術力があれば実施可能です。
	・なぜ１者入札なのか。	・入札説明書をダウンロードした６者にヒアリングしたところ、技術者がいないという理由で参加しないとのことでした。
	・震災から３年経過したが、まだかなり１者入札が多いのか。	・東北地方では技術者が不足のため、応札者が少ない傾向にあります。
2-6	審議 「仙台塩釜港石巻港区ちとせ修理工事」	
	・これも１者入札だが。	・宮城県内では参加可能業者は５者です。造船所も震災で被災しており、そういう状況の中で入札を行った結果、１者入札となっています。
	・１回目と２回目の間に補足説明をしたということだが。	・１回目の入札で、予定価格との差が１０％以上あったことから説明を行っています。
	・３７年経過している船と言うことだが、買った方が安いような気もするが。	・メーカーの供給部品があるので、修理を基本としています。
	・応札者は電子入札だったのか。	・紙入札でした。
	・今回の入札で応札者は会場に来ているのか。	・今回は紙入札のため、来ています。
	・再入札は当日に行うものなのか。	・今回は業者に再入札可能時間を確認した結果、当日に行っています。